

学校教育自己診断の結果と分析 [令和7年12月実施分]

(選択肢は、1 = よくあてはまる、2 = ややあてはまる、3 = あまりあてはまらない、4 = まったくあてはまらない。文中の回答の数字(%)は、特に指定しない限り1と2の合計を肯定的回答とする) 下線は前年比較で2%以上の差 (R07 (R06) R01※感染症前)

【学校生活への満足度、全体的傾向】

・生徒「学校に行くのが楽しい」	85 (84) 82
「悩みや相談に応じてくれる」	<u>91 (88) 75</u>
「いじめなどに真剣に対応してくれる」	<u>93 (91) 82</u>
「教室や廊下等の清掃が行き届いている」	<u>75 (69) 65</u>
・保護者「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」	76 (78) 82
「先生は子どもを理解している」	<u>80 (74) 73</u>

○生徒評価が向上。

【保護者との連携】

・保護者「保護者の相談に適切に応じてくれる」	<u>90 (88) 83</u>
「保護者の願いに答えている」	84 (86) 74
「家庭への連絡や意思疎通を積極的に行う」	77 (77) 75
「携帯連絡網は学校からの情報収集に役立つ」	88 (92) 88

○保護者評価はほとんど変化なし。携帯連絡網については落ち込む。

【学習指導】

・生徒「授業はわかりやすい」	<u>84 (82) 72</u>
「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」	<u>86 (82) 75</u>
「教え方に工夫をしている先生が多い」	<u>92 (88) 78</u>
「授業で、自分の考えをまとめたり発表したりする機会がある」	88 (89) 69
「授業でコンピュータや 프로젝タを活用している」	98 (97) 90
・保護者「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」	<u>57 (53) 53</u>

○生徒の授業への評価が向上。評価は低いものの保護者の評価も向上した。

【進路指導】

- ・生徒「将来の進路や生き方について考える機会がある」 93 (92) 87
 - 「知りたい情報を適切に知らせてくれている」 91 (92) 80
 - 「ガイダンスや総合探究、進路 HR はコース選択や進路決定に役立つ」 81 (84) 75
 - ・保護者「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」 87 (90) 79
 - 「進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている」 79 (83) 74
- 生徒、保護者ともに厳しい評価。

【生徒指導】

- ・生徒「学校生活についての先生の指導には納得できる」 87 (84) 73
 - ・保護者「学校の生徒指導方針に共感できる」 82 (77) 71
- 生徒、保護者の評価ともに上昇。

【人権尊重の教育】

- ・生徒「いじめやセクシュアルハラスメントが起こりにくい」 92 (92) 83
- 「人権や命の大切さについて学ぶ機会が多い」 91 (89) 81
- 「悩みや相談に応じてくれる」(再掲) 91 (88) 75
- 「SNSを適切に使用し、安心して学校生活を送っている」 96 (97) 90
- ・保護者「学校では、子どもに関するプライバシーが守られている」 92 (92) 88
- 「学校は、生徒の生命や人権を大切にする教育に取り組んでいる」 91 (90) 85
- 「生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てる」 91 (90) 79
- 「子どもはSNSを適切に使用し、安心して学校生活を送っている」 87 (90) 87

○生徒評価が向上。保護者への情報提供とともに、世代交代がある中、教職員が人権尊重に関する学びを深めることが必要。